

理論編

喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方と指導内容

- 1 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の目標と観点
- 2 学習指導要領における位置付け
- 3 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の指導場面及び内容
- 4 指導方法の工夫
- 5 各校種・学年における指導内容

喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方と指導内容

1 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の目標と観点

(1) 指導の目標

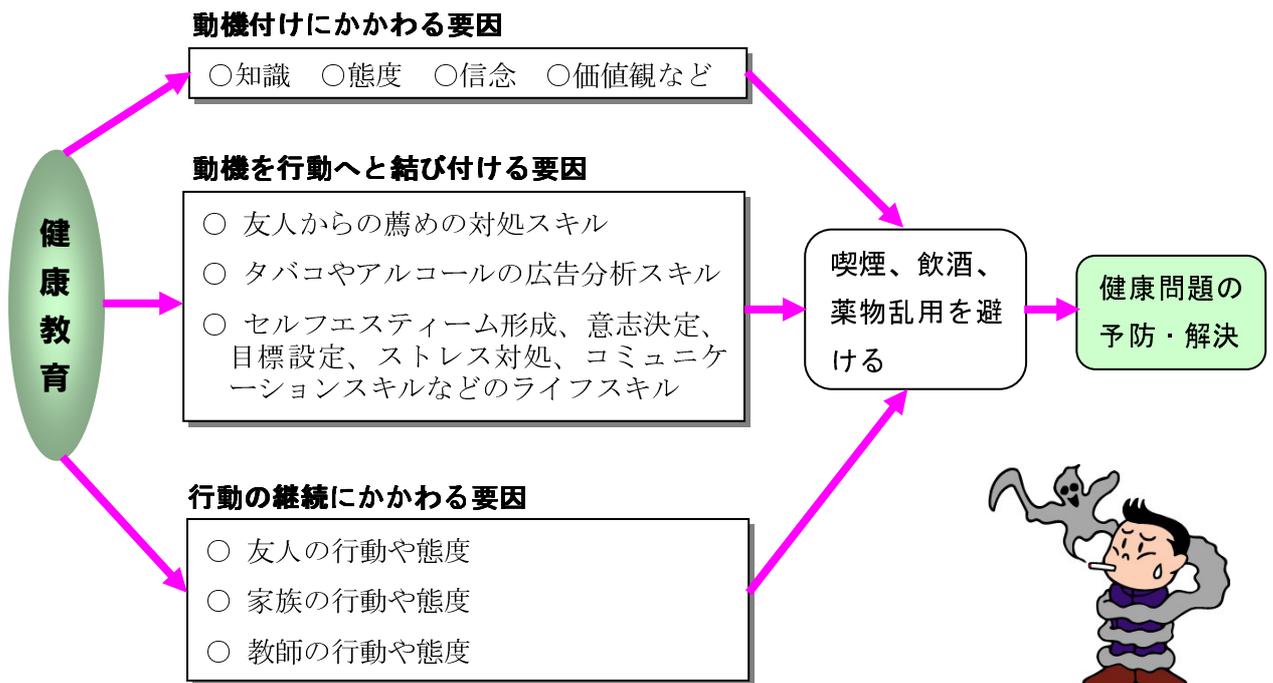
喫煙、飲酒、薬物乱用を防止し生涯を通して健康・安全で活力のある生活を送ることができるような資質や能力を育てる

- ① 喫煙、飲酒、薬物乱用が健康や社会に及ぼす影響及び社会的対策について知識を身に付け、理解する。
- ② 喫煙、飲酒、薬物乱用が健康や社会に及ぼす影響の重大性及び社会的対策の重要性に気付くとともに関心を持ち、それらを解決しようとする意欲を高める。
- ③ 喫煙、飲酒、薬物乱用にかかわる要因に気付き、喫煙、飲酒、薬物乱用をしないという意志決定のための能力を身に付け、自らの生活をコントロールできる。
- ④ 地域や社会生活において、喫煙、飲酒、薬物乱用防止のための活動ができる。

(2) 指導の観点

指導内容を選定するにあたり、青少年の喫煙、飲酒、薬物乱用行動の形成要因について考慮する必要がある。単に、健康影響に関する情報を提供するだけでなく、次の3つの要因のすべてに対して適切な働きかけをする必要がある。

【喫煙、飲酒、薬物乱用防止にかかわる要因図】



グリーン (Green, LW) のプリシードモデルを喫煙、飲酒、薬物乱用に適用

2 学習指導要領における位置付け

(1) 総則

体育・健康に関する指導（中学校学習指導要領総則編 第1章第1の3）

学校における体育・健康に関する指導は、生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科の時間はもとより、技術・家庭科、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとする。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮しなければならない。

健康に関する指導については、生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや活動を通じて自主的に健康な生活を実践することのできる資質や能力を育成することが大切である。

その指導においては、体づくり運動や各種のスポーツ活動はもとより、保健指導、安全指導、給食指導などの健康に関する指導が重視されなければならない。このような体育・健康に関する指導は、保健体育科の時間だけではなく技術・家庭科などの関連教科や道徳、特別活動のほか、総合的な学習の時間なども含めた学校の教育活動全体を通じて行うことによってその一層の充実を図ることができる。

※小学校、高等学校も同様に位置付けられている。

(2) 特別活動

「学級活動」心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

- 生涯を通じて積極的に健康の保持増進を目指すような態度の育成
 - ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの害に関することについて、学年や発達の段階も踏まえて題材を設定し、身近な視点からこれらの問題を考え意見を交換できるような話し合いや討論、実践力の育成につながるロールプレイングなどの方法を活用して展開していくこと。

「学校行事」健康安全・体育的行事

- 心身の健全な発達や健康の保持増進についての理解を深める
 - ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為の有害性や違法性、防犯や情報への適切な対処や行動について理解させ、正しく判断し行動できる態度を身に付ける。

(3) 体育・保健体育

「小学校」病気の予防

- 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

「中学校」健康な生活と疾病の予防

- 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。

「高等学校」健康の保持増進と疾病の予防

- 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。

3 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の指導場面及び内容

(1) 保健学習における指導

学習指導要領の内容に基づき、教科の年間指導計画に位置付けて指導する。その際、児童生徒の発達の段階を踏まえ、校種間の接続を考慮することが大切である。

小学校6年生→「病気の予防」 【概ね1時間～2時間】

中学校3年生→「健康な生活と疾病の予防」 【概ね2時間～3時間】

高校入学年次→「健康の保持増進と疾病の予防」 【概ね3時間～4時間】

(2) 関連教科における指導

各教科の学習内容と関連付けて指導する。その際、教科としての学習のねらいを明確にして学習を進めることが大切である。

＜関連教科の例＞

- 理科：消化・吸収、血液の循環と喫煙や飲酒が体に及ぼす影響
- 社会科：個人と社会生活において、薬物乱用という社会のルールを破ることの悪影響やインターネットの普及と薬物乱用問題
- 技術・家庭科：幼児の発達と家族において、幼児の過ごす環境の受動喫煙の問題

(3) 道徳における指導

各教科及び特別活動と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合する。また、生徒の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断を高め、道徳的実践意欲と態度の向上を図ることを通して、道徳的実践力を育成する。これらの指導において、自己理解を深め、自己の尊厳への気付きから自尊感情を高めること、自分の目標や価値観を明らかにすることなど、適切な意志決定ができるようにすることが大切である。さらに、法や規則が必要であることの理解や守るべき正義と目指すべき社会について考えさせることも重要である。

- 「1 主として自分自身に関する事」…「(1) 望ましい生活習慣、節度と節制」
「(3) 自立の精神、自主的な判断」
「(5) 自己理解と自己実現」
- 「4 主として集団や社会とのかかわりに関する事」…「(2) 法やきまりの意義、権利と義務、社会の規律」

(4) 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間は、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題について学習テーマを設定して取り組む。数時間の単発的な取り上げ方ではなく、健康にかかわる危険行動の防止の一貫としてまとまった時間を確保し、児童生徒の自主的な学習活動を展開することによって、より成果を上げることができる。すなわち、全体を見通した健康教育として展開することが大切である。

4 指導方法の工夫

新学習指導要領では、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を目指して、「知識を活用する学習活動」を積極的に授業場面に取り入れることが大切にされている。次にあげる様々な指導方法は、それぞれ特徴があり、学習のねらいや活動内容、さらに活動に要する時間などを考えた上で、適切な指導方法を選択すべきである。

指導方法	機能・特徴等	活用の例	期待される効果	活動規模
ブレインストーミング	あるテーマについて、様々なアイデアや意見を出すための活動	○ 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけや背景 ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用の有害性、悪影響 ○ 禁煙の場所 ○ リラクゼーションの方法 ○ 課題学習での課題発見	思考力の形成 活発な意見交換	小集団
ケーススタディ(事例による学習)	日常起こりやすい状況を取り上げ、状況にかかわる心理状態や対処法等を検討するための活動	○ 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけや背景 ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用に誘われた場合の対処	現実的な問題に関する思考力、対処能力の形成	個人 小集団 全体
ロールプレイング	ある役割に必要な能力や技術を習得したり、効果的な対処法について理解したりするための活動	○ 喫煙、飲酒、薬物乱用に誘われた場合の対処	現実的な問題への対処能力(特に技術)の形成	小集団 全体
ディベート	あるテーマについて、肯定側と否定側とに分かれ、二つのチームがルールに従って議論を行い、その結果を審判が判定する活動	○ たばこやアルコールの自動販売機の撤去の是非	思考力、判断力、表現力などの形成 活発な意見交換	全体
実験	ある仮説を実証的に検証するための活動	○ ストレス対処法の実施と効果 ○ 換気の効果	思考力、判断力の形成 対象への直接的関与	個人 小集団
課題学習	課題を発見し、解決の方法を考え、解決する学習活動	○ 喫煙、飲酒、薬物乱用の様々な影響	課題発見・探究・解決などの能力、思考力、表現力などの形成	個人 小集団
実地調査、アンケート、インタビュー	現地に赴いたり、対象者に質問したりすることにより、実態等を把握したり問題を探ったりするための活動	○ 生徒のストレス状態の調査 ○ 喫煙や飲酒のきっかけに関するインタビュー	思考力、判断力の形成 対象への直接的関与	個人 小集団
VTR、パンフレット等の活用	課題について発展的な内容も含め、視聴覚的に集約・整理した教材	○ 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する基礎的内容(有害性、きっかけや背景、内外の諸対策)	正確で実感を伴う理解	個人 全体
コンピュータの活用	情報収集、双方向の意見交換、情報や資料の整理、発表のための図表等を作成するための活動	○ 国内、国外における喫煙や飲酒対	多様な情報の入手 情報処理等能力、表現力、思考力、判断力などの形成	個人
多様な教職員や外部講師の参加	専門家による専門的な情報等の提供、複数教師による綿密な支援など	○ 種々のグループワーク ○ 薬物乱用防止教室 ○ 課題学習	思考力、判断力などの形成	全体

<ブレインストーミング>

集団(小グループ)によるアイデア発想法のひとつ。参加メンバー各自が自由にアイデアを出し合い、互いの発想の異質さを利用して、連想を行うことによってさらに多数のアイデアを生み出そうという集団思考法・発想法のこと。

【4つの原則】

- ① 批判をしない
- ② 奔放なアイデアを歓迎する
- ③ 質より量を重視する
- ④ 他のアイデアを修正、改善、発展、結合する



【進め方の例】

- ① 付箋(アイデアをひとつずつ書くためのもの)を一人10枚程度配る。
- ② スタートの合図で各自付箋にアイデアを書きながら、それを声に出して読み上げる。(4つの約束を守る)発表は思いついた人から行う。司会は設けない。
- ③ 書かれた付箋を机上へ置いていく。

※「課題解決法のアイデアを出す」「課題を確認する」「イメージを整理する」などの場面で活用できる。

<ケーススタディ>

日常で起こりそうな架空の物語で場面を設定し、学習者がその主人公の立場に立ち、登場人物の気持ちを考え、または行動の結果を予想したり、主人公がどのように対処(態度や行動)すべきかについて考えたり話し合う学習のことである。

学習者は、架空の人物について話し合うため、自分の個人的な経験を暴露したり気恥ずかしい思いをしたりする心配が少ないことから、学習者の率直な気持ちや考えを引き出すことが容易になる。

【留意点】

- ① 学習者に自由な発想と十分な時間を保障し、批判的な思考や創造的な思考を促す問いかけをすること。
- ② 授業の「展開」では、「もしあなただったら」という問いかけは避け、物語の登場人物について考えさせる。
- ③ 教師にとって都合のよい特定の考えや価値観を強引に押しつけないこと。
- ④ 授業の終わりにまとめとして、ありがちな結論を性急に位置づけないこと。
- ⑤ 学習者にすばらしいアイデアや考え、または正しい回答を求めることよりも、学習者自身が自分なりに思考し、他の人の考えを知ってさらに思考を深めるといった過程を重視すること。

<ロールプレイング>

ロールプレイングは、役割演技法とも呼ばれ、個人の心理療法や対人関係の改善、リーダーシップの訓練などに幅広く用いられる。喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、性教育、心の健康などで行われるロールプレイングは、周囲の人々からの圧力への対処能力を高めるものであり、対人関係の改善や対人関係能力の習得に関わるものと言える。生徒が、現在あるいは近い将来遭遇する可能性の高い状況(たばこを勧められる等)を取り上げ、そこでの効果的な対処法を考えたり、実際に練習したり演じたり、それらについて振り返ったりすることにより、対処能力を向上させる。

【ロールプレイングの目的】

- 自分自身や他の生徒の対人関係に関連する知識や能力を評価する。
- 対処能力を向上させたり、対処の仕方を練習したりする。
- グループ全員、あるいはクラス全員の協力のもと、有効な対処策を幅広く明らかにする。
- 他の生徒の演技を観察することにより、効果的な対処法を学習する。

【実施上の留意点】

- たばこを勧めるなど好ましくない役は、原則として生徒にはさせない。
- たばこなど本物を小道具として使わない。
- 教師が勧める圧力を強めて、生徒が対処できなくなるほど追い込まない。
- 勧め方の印象が強く残ってしまわないように、勧め役の教師はあまりに巧みな演技をしない。
- 演技自体が目的化され、演技指導に陥らない。
- 生徒の演技の問題点ばかりを指摘しない。
- 観察者である生徒が単なる傍観者にならないようにする。

【進め方の工夫】

(1) 進め方

- ① ロールプレイングに参加しやすい雰囲気作りを行う。
- ② ロールプレイングの目的や進め方を確認する。
- ③ 小グループに分かれて、対処スキルを向上させるための練習をする。
- ④ 教師は、演技者と観察者にそれぞれの課題を説明する。
- ⑤ 最初のグループの代表がみんなの前でロールプレイングを行う。
- ⑥ ロールプレイング後、演技の終了を明確にするために、教師は演技者の役割を解く。
- ⑦ 演技者と観察者は課題に答える。必要に応じて、観察者が意見を発表したり、再度ロールプレイングを行ったりする。
- ⑧ ⑤～⑦をグループの数だけ繰り返す。
- ⑨ まとめでは、自己主張コミュニケーションの特性、多様な対応が存在することなどを確認する。

(2) セリフづくりの意義

- 基礎的内容の学習(喫煙の有害性、開始要因等)を応用できる。
- 人から圧力を受けた場面で、何を言うべきか、どう表現するかを明らかにする。
- 書いた内容が、攻撃的か、受動的か判断できる。
- 有効な対応が、多様に存在することを確認できる。

(3) ロールプレイング直後の検討

- 演技者に対する質問
 - ・ 演じた後の感想を述べる。
 - ・ 演じる際に工夫した点(セリフの内容や伝え方)を述べる。
 - ・ 困った点、うまくいかなかった点などがあった場合には述べる。
- 観察者に対する質問(演技のよかった点を上げる。)
 - ・ 断るセリフが明確 ・ 声が大きかった ・ ボディーランゲージが活用されていた。
 - ・ 自然体であった。 ・ その人らしさが出ていた。 ・ 断固とした態度だった。
 - ・ アイデアが素晴らしい など

5 各校種・学年における指導内容

<小学校 第1学年・第2学年>

教科等	題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
生活科	「気もちのいい一日」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の生活の振り返り ○ 生活行動の理解 ○ 生活目標の気付き 	<p>内容(2)「家庭と生活」及び内容構成の具体的視点、ア「健康で安全な生活」、コ「基本的な生活習慣や生活技能」</p> <p>健康や安全に気を付けて、遊びや規則正しい生活ができるようにする。</p>
道徳	「よいことすすんで」	<ul style="list-style-type: none"> ○ よいことと悪いことの判断 ○ 体験の発表 ○ 意志決定の練習 	1主として自分自身に関すること (3) 良いことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う
	「あいさつはこころのリボン」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時、場所、相手によるあいさつの例 ○ 場面を想定した練習 ○ 習慣化するためのめあて 	2主として他の人のかかわりに関すること (1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する
	「かぞくっていいね」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族の役に立った経験の発表 ○ 自分にできることの計画 ○ 実行した感想 	4主として集団や社会とのかかわりに関すること (2) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る
特別活動 (学級活動)	「あなたのことをおしえてね」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分についての記入 ○ お互いの紹介 ○ 感想の発表 	イ日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (ア) 希望や目標をもって生きる態度の形成
	「きれいなくうきがいいね」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身のまわりの清潔 ○ 喫煙の影響 	イ日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (オ) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

＜小学校 第3学年・第4学年＞

教科等	題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
体育 (保健領域)	「私の健康生活」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣の重要性 ○ 健康に関する価値観 ○ 基本的な生活習慣 	(1) 毎日の生活と健康 ア 1日の生活の仕方
	「リズムのある生活を送ろう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身長、体重などの変化 ○ 個人差 ○ 調和のとれた食事、運動、休養、睡眠の重要性 	(2) 育ちゆく体とわたし ア 体の発育・発達と食事、運動などの大切さ
	「きれいな空気－部屋の中－」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部屋の空気を汚す原因 ○ 汚れた空気の影響 ○ 部屋の空気をきれいにする方法 	(1) 毎日の生活と健康 イ 身のまわりの清潔や生活環境
道徳	「すばらしい友だち」	<ul style="list-style-type: none"> ○ よい友だちの特性 ○ 自分や友だちのよい点 ○ よい友だちとしてできること 	2主として他の人とのかかわりに関すること (2) 相手のことを思いやり、親切にする
特別活動 (学級活動)	「そっと自分に聞いてみよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の長所と短所 ○ 目標にしたい人や将来の夢 	イ 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (ア) 希望や目標をもって生きる態度の形成
	「上手に話を聞こう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話を上手に聞けない物語の主人公についての話し合い ○ よい聞き方についてのブレインストーミング 	ア 学級や学校の生活の充実と向上に関すること
	「自分の気持ちを伝えよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級内での問題把握 ○ 様々な対処の仕方 ○ 自己主張的コミュニケーションスキルの日常生活への適応 	ア 学級や学校の生活の充実と向上に関すること
	「広告の影響について知ろう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ お菓子の選択の仕方についての検討 ○ 広告の分析 	イ 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (オ) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
	「薬の使い方を知っている？」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬を使うとき ○ 医薬品の誤用 ○ 薬の正しい使い方 	イ 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (オ) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

＜小学校 第5学年・第6学年＞

教科等	題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
体育 (保健領域)	「不安や悩みへの対処」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの対処法の振り返り ○ 望ましい対処法 ○ 自分にあった対処法 ○ リラクゼーションの体験 	(2) 心の健康 ウ 不安や悩みへの対処
	「見直そう 生活習慣」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病とは ○ 生活習慣病の原因 ○ 自分にできる生活習慣病の予防 	(3) 病気の予防 ウ 生活の行動がかかわって起こる病気の予防
	「喫煙と健康」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「禁煙マークの標識」の意味 ○ 喫煙が健康に及ぼす影響 ○ 喫煙をしない意志の発表 	(3) 病気の予防 ウ 生活の行動がかかわって起こる病気の予防
	「飲酒と健康」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒に対する意識と喫煙に対する意識の比較 ○ 飲酒が健康に及ぼす影響 ○ 飲酒をしない決意の発表 	(3) 病気の予防 ウ 生活の行動がかかわって起こる病気の予防
	「薬物乱用にかかわらない健康な心と体」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物乱用とは何か ○ 薬物乱用が健康に及ぼす影響 ○ 薬物乱用をしない決意の発表 	(3) 病気の予防 ウ 生活の行動がかかわって起こる病気の予防
道徳	「これが今の私」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分らしさの確認 ○ 自己イメージが行動に及ぼす影響 ○ よりよい自己イメージをもつための方法 	1 主として自分自身に関すること (6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす
特別活動 (学級活動)	「学級のきまりを作ろう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級目標の決定 ○ よりよい学級にするために自分ができること ○ みんなが守るべきルール、守れなかったときのきまり 	ア 学級や学校の生活の充実と向上に関すること
	「よりよい生活をめざして」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣の見直し ○ 改善したい生活習慣の目標設定 	イ 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (オ) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
	「ストップ・ザ・薬物ー広告を調べてみようー」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広告のイメージ ○ 広告のテクニックの確認 ○ 広告のテクニックとイメージの検討 ○ 広告を見るときにの注意点 	イ 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (オ) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
	「ストップ・ザ・薬物ーうまく断るにはー」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設定された状況の確認 ○ コミュニケーションの方法 ○ 断り方の練習 ○ 効果的な対処法の確認 	イ 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること (ウ) 望ましい人間関係の育成

＜中学校 教科保健体育（保健分野）における指導＞

指導学年	題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
1年	「喫煙が身体機能の発達に及ぼす影響」	○ 呼吸、循環機能の発達に及ぼす喫煙の影響	(1) 心身の機能の発達と心の健康 ア 身体機能の発達
	「薬物乱用をしない私の生き方」	○ 将来の夢や目標 ○ 喫煙・飲酒・薬物乱用と自己形成とのかかわり ○ 乱用をしない決意	(1) 心身の機能の発達と心の健康 ウ 精神機能の発達と自己形成 (イ) 自己形成
	「ストレスと喫煙、飲酒、薬物乱用」	○ ストレスへのいろいろな対処の仕方 ○ ストレスに関する問題状況 ○ 適切なストレス対処法	(1) 心身の機能の発達と心の健康 エ 欲求やストレスへの対処と心の健康 (7) 欲求やストレスへの対処 (イ) 心身の調和と心の健康
2年	「たばこの煙は空気を汚します」	○ 空気を汚すもの ○ たばこの煙による空気の汚染 ○ 受動喫煙と健康	(2) 健康と環境 イ 空気や飲料水の衛生的管理 (7) 空気の衛生的管理
3年	「生活習慣と健康」	○ 健康に対する価値観 ○ 主体要因 ○ 環境要因 ○ 生活習慣病の予防	(4) 健康な生活と疾病の予防 ア 健康の成り立ちと疾病の発生要因 イ 生活行動・生活習慣と健康
	「たばこの害のいろいろ」	○ 禁煙になっている場所 ○ 喫煙の健康への影響 ○ 未成年者へのメッセージカードの作成	(4) 健康な生活と疾病の予防 ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (7) 喫煙と健康
	「酒、その一杯が…」	○ 飲酒の様々な影響 ○ 飲酒が引き起こす問題 ○ 飲酒の影響に関するまとめ	(4) 健康な生活と疾病の予防 ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (イ) 飲酒と健康
	「薬物乱用の危険『ストップ・ザ・ドラッグ』」	○ 身近な薬物乱用の問題 ○ 薬物依存と乱用の影響 ○ 薬物乱用の影響に関するまとめ	(4) 健康な生活と疾病の予防 ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (イ) 薬物乱用と健康
	「喫煙、飲酒、薬物乱用をしないために」	○ 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ ○ コミュニケーションの方法 ○ シナリオの作成 ○ 自己主張的コミュニケーションスキルの日常生活への応用	(4) 健康な生活と疾病の予防 ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康
	「健康を守る手だて」	○ 個人の健康と集団の健康の関係 ○ 人々の健康を守るための活動 ○ 保健・医療機関の役割と有効利用	(4) 健康な生活と疾病の予防 オ 個人の健康と集団の健康

<中学校 道徳における指導>

指導学年	題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
1年 2年 3年	「自分のことは自分で決めたい」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己尊厳への気付き ○ 仲間の圧力への対処 ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用に関する意志決定 	1 主として自分自身に関すること (3) 自立の精神、自主的な判断
	「しばられたくないのはみんな同じ」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法やきまりと自分たちの生活 ○ 守るべき正義と規律ある社会 ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用に関する意志決定 	4 主として集団や社会とのかかわりに関すること (2) 法やきまりの意義、権利と義務、社会の秩序と規律
	「元気ですか あなたの心と体」	<ul style="list-style-type: none"> ○ よい生活習慣と健康 ○ 欲望や衝動と節度及び節制 ○ 調和のある生活の実現と豊かな人生 	1 主として自分自身に関すること (1) 望ましい生活習慣、節度と節制、調和のある生活
	「自分を丸ごと好きになる」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己理解 ○ 自己形成への意欲の向上 	1 主として自分自身に関すること (5) 自己理解と自己実現

<中学校 特別活動における指導>

教科等	指導学年	題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
学級活動	3年	「未成年者の喫煙、飲酒と自動販売機」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前調査の結果から見た自販機がもたらす問題点 ○ 自販機に関する日本及び諸外国の規制内容 ○ 未成年者の喫煙や飲酒の防止対策 ○ 防止のために日本で取り組むべき課題 	(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること イ 健康や安全に関すること (7) 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
	2年 3年	「広告を調べてみよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広告とその影響 ○ 広告のテクニックの確認 ○ 酒類の広告のテクニックとイメージの分析 ○ 反証（否定する証拠）と警告文の作成 	(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること イ 健康や安全に関すること (7) 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
	3年	「自信を持って断るために」	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロールプレイングの目的、進め方 ○ 誘いへの対処の練習 ○ 代表による実演 ○ 効果的な対処法の確認 	(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること ア 個人及び社会の一員としての在り方に関すること (ホ) 望ましい人間関係の確立
学校行事	1年 2年 3年	「断る勇気を持つとう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物乱用防止教室の開催 ○ 心身への影響 ○ 家庭や社会への影響 ○ 薬物乱用防止対策 	(3) 健康安全・体育的行事
生徒会活動		「もっと知ろう 喫煙、飲酒、薬物乱用の害」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用に関する意識調査と問題意識 ○ 生徒の意識の高揚 ○ 実態調査とその対策 	(1) 学校生活の充実や改善向上を図る活動 オ 身近な問題の解決を図るための活動 (3) 学校行事への協力に関する活動

＜高等学校 教科保健体育（科目保健）における指導＞

題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
「あなたの生活の質を高めるには」	○ ヘルスプロモーション ○ 健康成立の要因や条件 ○ 健康に対する価値観	(1) 現代社会と健康 ア 健康の考え方 (4) 健康の考え方と成り立ち
「健康は自分のライフスタイルから」	○ 生活習慣病について ○ 生活習慣病と生活行動 ○ 喫煙、飲酒と生活習慣病との関連	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (7) 生活習慣病と日常の生活行動
「知ろう、たばこの害」	○ 喫煙による健康への影響 ○ 喫煙による社会的影響 ○ 喫煙問題に対する対策 ○ 喫煙に対する意志決定と行動	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (4) 喫煙、飲酒と健康
「知ろう、酒の害」	○ 飲酒による健康への影響 ○ 飲酒による社会的影響 ○ 飲酒問題に対する対策 ○ 飲酒に対する意志決定と行動	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (4) 喫煙、飲酒と健康
「NO！ドラッグ」	○ 薬物乱用に関する問題状況の把握 ○ 薬物乱用の健康や社会に及ぼす影響、防止対策、意志決定（新聞作り）⇒新聞の紹介	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (7) 医薬品の正しい使用、薬物乱用と健康
「安全で効果的な薬の使い方」（学校薬剤師とのTT）	○ 医薬品の役割 ○ 医薬品の正しい使い方 ○ 医薬品の誤用の影響 ○ 医薬品と健康	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (7) 医薬品の正しい使用、薬物乱用と健康
「危険なこと、なぜするのか－意志決定と行動選択①意志決定に影響する要因－」	○ 喫煙、飲酒、薬物乱用を促す個人及び社会的要因 ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用を避けるために必要な能力	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (4) 喫煙、飲酒と健康 (7) 医薬品の正しい使用、薬物乱用と健康
「あなたはどうしますか？－意志決定と行動選択②意志決定の過程－」	○ 飲酒のすすめに関するケーススタディ ○ 喫煙や薬物乱用のすすめに関するケーススタディ ○ 意志決定の基本的なステップ	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (4) 喫煙、飲酒と健康 (7) 医薬品の正しい使用、薬物乱用と健康
「ストレスと上手につきあおう」	○ 様々なストレスへの対処法 ○ 見方、とらえ方を変える練習 ※ 体ほぐしの運動との関連	(1) 現代社会と健康 ウ 精神の健康 (7) ストレスへの対処
「可能性を求めて、自らを大切に」	○ 二人の「自己実現」 ○ 自己実現とその過程 ○ 自分の夢と将来の目標	(1) 現代社会と健康 ウ 精神の健康 (エ) 自己実現
「大切な母体と胎児の健康」（課題学習）	○ 課題の設定と学習計画の立案 ○ 課題の追究 ○ 情報の整理と分析 ○ 発表の準備、まとめと評価	(2) 生涯を通じ健康 ア 生涯の各段階における健康 (4) 結婚生活と健康

＜高等学校 特別活動における指導＞

教科等	題材名	学習内容・活動	学習指導要領における位置付け
ホームルーム活動	「リーフレットを作ろう－周囲の人の禁煙を手助けしよう－」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 禁煙の効果及び難しさ ○ 禁煙の方法 ○ 目標の設定とリーフレットの作成 ○ 作品の発表 	(2) 個人及び社会の一員としての在り方生き方、健康や安全に関すること イ 心身の健康と健全な生活態度や習慣の確立、生命の尊重と安全な生活態度や習慣の確立など
	「OPERATION BLUE WIND －CD-ROMを用いて－」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物及び薬物乱用の心身への影響 ○ 薬物乱用の心理的、社会的な問題 ○ 関係機関との連携 	
	「自分の夢や目標の実現を阻むもの－進路実現と飲酒」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の将来の目標の実現にかかわる要因 ○ 自分の将来の目標の実現を妨げるもの ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に向けたメッセージの記入 	(3) 学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択決定に関すること
学校行事	「JUST SAY NO!」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部の専門家による講演会、薬物乱用防止教室の開催 ○ TTによる授業（外部の専門家、教職員など） 	(3) 健康安全・体育的行事

＜参考文献＞

- 「小学校学習指導要領解説 体育編」 文部科学省 平成20年9月
- 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」 文部科学省 平成20年9月
- 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編」 文部科学省 平成21年12月
- 「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する参考資料」 文部科学省、(財)日本学校保健会
小学校編：平成17年 中学校編：平成16年、高等学校編：平成16年
- 「新学習指導要領に基づくこれからの保健学習」 (財)日本学校保健会 平成21年2月